

平成28年度 新発田・北蒲社会科部 活動報告

部長 江畑 正平

1 研究主題 資料を効果的に活用して思考力や判断力・表現力を高める授業

2 研究の概要

4月12日(火) 第1回専門部会 役員選出、研究テーマ決定、活動計画立案

6月3日(金) 第2回専門部会 講演会(会場:新発田市立米倉小学校)

演題「資料を効果的に活用して思考力・判断力を高める授業づくり」

講師:村上市立小川小学校長 山崎 浩志 様

11月1日(火) 授業研修 6年「戦争と人々の暮らし」

授業者 聖籠町立山倉小学校 服部 隆典 教諭

指導者 村上市立小川小学校長 山崎 浩志 様

3 研究の実際

(1) 講演「資料を効果的に活用して思考力・判断力を高める授業づくり」

以下の点について、重点的にご指導いただいた。

ア 新発田市授業スタンダードにもとづいた提示資料

イ 資料読解の視点

11月の授業研修で行う6年生「戦争と人々の暮らし」単元の内容と関連した資料を示され、実際にどのような授業を組み立てることができるかについて、解説していただいた。豊富な実践、明確な理論に裏付けられたお話から、今後の授業の一つの方向性を学ぶことができた。

(2) 授業研修 6年社会科「戦争と人々の暮らし」

本時は、9時間の単元の中の6時間目で、資料の比較から戦争が聖籠町の人々の暮らしに与えた影響について考える学習であった。

前半では、聖籠町と東京の配給品の比較から、どちらも同じように食料の配給が不十分であったことを読み取り、苦しい生活をしていたと予想することができた。後半では、実際にどのような生活を送っていたのかをゲストティーチャーの方からお話ししていただいた。「貧しいからこそ、協力していたこと」「工夫して、知恵を働かせて生活していたこと」などの話をお聞きし、子どもたちは、予想以上に厳しい生活を送っていた事実には驚いていた。本時の授業を通して子どもたちは、「食べ物が少なく、貧しい生活だったけど、みんなで協力して乗り越えた生活だった」という考えをもつことができた。

指導者の山崎浩志様からは、「子どもの思考の流れに沿って資料を提示すること(提示順の工夫などで子どもが思考する場面が増える)」「学習課題をいかに設定するか(これからわたしたちはどうするのかと考えさせられるもの)」が重要であることをご自身の実践をもとに、ご指導していただいた。



4 成果

今年度は、特に資料活用力の育成に重点を置いて研修を進めた。比較関連させる資料、驚きをもたせる資料など、具体的な視点で授業を参観、協議を深めることができた。子どもの社会的思考力を高めるためには、資料を効果的に使うことが重要と再認識できた。